

## シンポジウム 1

10月9日(日) 9:00~10:30 第1会場

### 「AI×血液浄化」～AIによる血液浄化装置の自動化は可能か～

座長 川崎 路浩(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)  
村田 渉(JCHO滋賀病院 臨床工学科)

**SY1-1 血液浄化分野におけるAI技術利用の可能性**

川崎 路浩(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)

**SY1-2 血液浄化でAIが導入された世界**

片山 雄貴(日機装株式会社)

**SY1-3 ニプロが考える透析関連システム×AIの可能性**

永井 翔(ニプロ株式会社)

**SY1-4 透析装置へのAIの導入について**

伴 拓弥(東レ・メディカル株式会社)

**SY1-5 「AIと血液浄化」についての当社の展望**

山澤 博一(株式会社ジェイ・エム・エス)

## シンポジウム 2

10月9日(日) 14:10~15:50 第1会場

### 各専門領域での業務拡大に向けた将来展望 CEののびしろについて

座長 小笹 真(第二富田クリニック)  
野村 知由樹(医療法人医誠会都志見病院 臨床工学科)

**SY2-1 ニューロモデュレーション治療における臨床工学技士の果たす役割について**

先田 久志(独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター ME機器管理室)

**SY2-2 在宅人工呼吸器業務における将来展望**

大野 進、石井 菜緒美、木村 優志  
(滋賀県立小児保健医療センター、滋賀県立総合病院 臨床工学科)

**SY2-3 不整脈治療業務での業務拡大に向けた将来展望**

～CEののびしろについて～  
原光 佑一(岸和田徳洲会病院 臨床工学室)

**SY2-4 臨床工学技士としての災害医療との関わり**

平尾 貴洋(淡海医療センター 臨床工学科)

**SY2-5 在宅血液透析(HHD)における臨床工学技士(CE)の業務と役割**

～The CE plays a pivotal role in HHD～  
古澤 敦志(医療法人社団 富田クリニック)

## シンポジウム 3

10月9日(日) 15:20~16:50 第2会場

### 医療機器イノベーション Iotで未来型医療の実現へ

座長 山口 倫也(海南医療センター 医療技術部)  
楠井 敏之(奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター)

**SY3-1 Capsule(医療機器連携ソリューション)の運用実績及び将来展望**

佐藤 晃(株式会社フィリップス・ジャパン)

**SY3-2 ME機器管理システムMARISのクラウドを活用した将来展望について**

藤田 健(フクダ電子株式会社)

**SY3-3 医療機器リモート監視サービス MD Linkageについて**

屋比 久育男(日本光電工業株式会社)

**SY3-4 医療機器のデータ・イベント情報集約システムによる業務のDX化・効率化**

吉永 大祐(イードクトル株式会社)